

様式 A 音 楽（長尾 ）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	音 楽 Music		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・芸術	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	一年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	長尾千枝・非常勤講師		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	芸術		
	学習教育目標との関 連	本科目は一般科目学習目標「③生きるための活力と、その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は、「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」である。		
	授業の概要	イタリア語やドイツ語の歌やギターの奏法を学び、表現を工夫して演奏する。いろいろなジャンルの音楽に触れ、その背景となる文化や歴史を探り音楽的視野を広げる。		
	学習目的	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
	到達目標	1. 歌唱，ギター，アンサンブルを通して，創造的な表現力を伸ばすとともに協調性を身につける。 2. 音楽の基本的な知識を習得し，楽譜を読む力を身につける。 3. 鑑賞では多様な音楽の持つ特徴を感じ，音楽の要素を理解し聴く能力を高める。 ◎目標達成のために他者と協調・協働して行動できる。		
履修上の注意		本科目は，1 学年の課程修了のために履修が必須である。		
履修のアドバイス		実技を伴う活動では積極的に参加し，楽典や鑑賞では主体的に学ぶこと		
基礎科目		特になし		
関連科目		世界史（1 年）		

授業にかかわる情報			
授業の方法		歌唱・アンサンブルは協力して演奏できるように、またギターは各自演奏技術の上達を自覚できるように指導する。鑑賞では視聴覚教材を使って、多様な音楽に触れる。	
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕（指示事項）
	前 期	1 週	● ガイダンス，校歌の歌唱
		2 週	● 校歌，日本語の歌の歌唱
		3 週	● 校歌，イタリア語・イタリア歌曲の歌唱・鑑賞
		4 週	● 校歌，イタリア歌曲，ドイツ語・ドイツ歌曲の歌唱・鑑賞
		5 週	● 校歌，イタリア歌曲，ドイツ歌曲の歌唱・鑑賞
		6 週	● リズムアンサンブル
		7 週	● クラッピング・アンサンブルの創作，ケチャ・ガムランの鑑賞
		8 週	● クラッピング・アンサンブルの発表
		9 週	● 楽典（五線譜，音名）・鑑賞
		1 0 週	● 楽典（音名，音符と休符）・鑑賞
		1 1 週	● 楽典（リズム，拍子）・鑑賞
		1 2 週	● 楽典（演奏順序の記号）・鑑賞
		1 3 週	● 『この道』楽曲分析（アナリーゼ）
		1 4 週	● 『この道』鑑賞，歌唱 (前期末試験)
		1 5 週	前期末試験の返却と解答解説
	後 期	1 6 週	● ギターの各部名称，調弦，基本的な奏法
		1 7 週	● ギターの基本的な奏法，タブ譜の読み方
		1 8 週	● 1・2 弦による単旋律の演奏
		1 9 週	● 5・6 弦による単旋律の演奏
		2 0 週	● 全ての弦による単旋律の演奏・スケールの練習
		2 1 週	● 全ての弦による単旋律の演奏・スケールの練習
		2 2 週	● コード奏
		2 3 週	● コード奏
		2 4 週	● ギターの実技発表
		2 5 週	● ギターの実技発表
		2 6 週	● 楽典（音程）
		2 7 週	● 楽典（音程，和音）
		2 8 週	● 楽典（和音，コードネーム）
		2 9 週	● 楽典（コードネーム） (後期末試験)
		3 0 週	後期末試験の返却と解答解説

教科書，教材等	教科書：『高校生の音楽１』（教育芸術社） 副教材：高校生のための音楽研究ノート
成績評価方法	年２回の実技発表 40%，年２回の期末試験 40%（内訳は 20%×4） 鑑賞の記録・楽典問題（20%） 中間試験は行わず，授業時間内の実技発表に替える。期末試験では教科書および副教材の持ち込みを許可する。再試験は原則として行わない。
受講上のアドバイス	実技発表は完成度だけでなく，普段の取り組みも重視して評価する。ギターは各自目標を設定し，ワークシートに練習の経過や自己評価などを記入し期限までに提出すること。

ルーブリック							
	理想的なレベルの目安（優）		標準的なレベルの目安（良）		未到達レベルの目安（不可）		
評価項目 1	創意工夫を生かした音楽表現をするため，グループで協力し，演奏技能を身に付け演奏している。		創意工夫を生かした音楽表現をするため，グループで協力し演奏技能を身に付ける努力をしいる。		創意工夫を生かした音楽表現をするためのループで協力し演奏技能を身に付ける努力をしていない。		
評価項目 2	楽曲の特徴や演奏を解釈し，その良さや美しさを創造的に味わっている。		楽曲の特徴や演奏を解釈し，その良さや美しさを味わっている。		楽曲の特徴や演奏を解釈し，音楽の良さ，美しさを味わうことができない。		
評価項目 3	音楽の基本的な知識を習得し，音楽の理解を深め，主体的に音楽活動ができる。		音楽の基本的な知識を習得し，音楽を理解して，主体的に取り組もうとしている。		音楽の基本的な知識を習得することができない。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	4 0	4 0	0	0	2 0	0	1 0 0
基礎的能力	4 0	2 0	0	0	2 0	0	8 0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	2 0	0	0	0	0	2 0